

日本膜学会第38年会のお知らせ

日本膜学会第38年会を下記の要領で早稲田大学にて開催いたします。例年通り人工膜、生体膜、ならびに境界領域と、膜学の広範囲な内容を含む年会を企画しております。一般発表以外に人工膜と生体膜の特別講演を各1件、ならびに人工膜2件、生体膜1件、境界領域1件の計4件のシンポジウムを開催します。基礎から応用まで膜の科学・技術に関心をお持ちの皆様のご参加とご発表（口頭およびポスター発表）をお待ちしております。詳細は膜学会ホームページ (<http://maku-jp.org/>) にてお知らせいたします。会員でない皆様も、これを機に是非ともご参加、ご発表頂きたく案内申し上げます。また、学生による優秀な発表に対し学生賞を設けていますので、ふるって応募して下さい。ただし、学生賞の審査対象はポスター発表に限ります。

記

開催日程：2016年5月10日（火）・11日（水）

開催会場：早稲田大学（西早稲田キャンパス63号館）

主催：日本膜学会

共催：早稲田大学

日本膜学会第38年会プログラム

●人工膜特別講演

「イオンや分子を輸送する液晶性自己組織化膜の構築」

加藤隆史（東京大学）

●生体膜特別講演

「膜脂質ダイナミクスを介する細胞機能の制御機構」

梅田真郷（京都大学）

◆人工膜シンポジウム1 「膜による水処理技術を展望するVII」

オーガナイザー：川勝孝博（栗田工業），谷口雅英（東レ），赤松憲樹（工学院大学）

◆人工膜シンポジウム2 「無機膜が拓く新しいプロセス技術の展望IV」

オーガナイザー：松方正彦（早稲田大学），野村幹弘（芝浦工業大学）

◆生体膜シンポジウム 「新技術が切り拓く生体膜研究」

オーガナイザー：寺田智祐（滋賀医科大学），森田真也（滋賀医科大学）

◆境界領域シンポジウム 「Hierarchical Membrane：人工膜と生体膜からのアプローチ」

オーガナイザー：馬越 大（大阪大学），島内寿徳（岡山大学），岡本行広（大阪大学）

問合せ先 日本膜学会事務局第38年会係

〒113-0033 東京都文京区本郷5-26-5-702

Tel & Fax：03-3815-2818, E-mail：membrane@mua.biglobe.ne.jp

日本膜学会 会長 高野幹久
日本膜学会 第38年会組織委員長 山口猛央
副組織委員長 岡村恵美子